

平成24年度
北九州市立図書館の運営に関する評価

平成25年7月
北九州市立中央図書館

北九州市立図書館の評価

I 基本目標

基本目標	
北九州市立図書館は、教育と文化の発展に寄与することを目的とし、市民にとってより身近な図書館を目指し、その利用を促すことを目標としています。	

II 基本指標と達成状況

基本指標と目標	
【指標】	【目標】
①貸出者数	対前年度比増
②貸出冊数	対前年度比増
③来館者数	(平成25年度より集計)



達成状況				
	【平成23年度】	→	【平成24年度】	【達成状況】
①貸出者数	786,867人		1,014,305人	対前年度 28.9%増
②貸出冊数	3,464,051冊		3,939,842冊	対前年度 13.7%増
③来館者数	—		—	

III 総合評価

総合評価	
<p>1 基本指標である貸出者数・貸出冊数が、前年度に比べ、それぞれ28.9%、13.7%と増加している。</p> <p>2 施策評価では、59項目のうち「順調である」以上の評価が43項目あり、約73%を占めている。</p> <p>3 利用者アンケートにおいても、「応対の親切さ」、「説明の分かりやすさ」などの満足度について、利用者の80%から90%超の方から「満足」以上の評価をいただいている。</p> <p>以上のことから、図書館全体の評価は順調であると考えます。</p>	

外部評価	
<p>図書館を運営するにあたり、施策の取り組みは全体的に高く評価できる。施策のうち、ホームページについては内容の充実に努めるとともに、「学校向け団体貸出の拡充」や「ボランティアバンクの検討」の取り組みを進めてもらいたい。</p> <p>基本指標及び利用者アンケートの結果についても、評価できる。</p>	

IV 施策評価

北九州市立図書館では、「これからの図書館のあり方」の中に示された5つの視点に立った取り組みを行っています。その具体的施策59項目の取組状況について、下記の基準を設けて評価を行います。

<評価の基準>

A	_____	大変順調である。
B	_____	順調である。
C	_____	やや遅れている。
D	_____	遅れている。

視点	方向性	具体的取組	取組状況	内部評価
<p>***** 図書館ネットワーク (連携)の構築 ～学校、行政、各種団体等との連携を目指して～ *****</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">内部評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</p> </div>	ネットワーク(連携)統括機能の充実	1 大学図書館等との連携	○平成14年8月に北九州市立大学と、平成14年9月に九州国際大学と、それぞれ連携協定を締結し、相互利用を進めている。	B
		2 図書館以外の図書施設との連携	○保健医療福祉情報センターと図書資料の相互貸借、図書館情報システムの参加などの連携を進めている。 ○ムーブ図書・情報室及び北九州学術研究都市学術情報センターと図書資料の相互貸借、図書館情報システムの参加、図書資料の返却フリーなどの連携を進めている。	B
		3 ひまわり文庫の充実	○平成24年度末の設置数は129か所。 ・蔵書数は約19万冊で、昨年度から6,800冊増加。 ・年間の貸出者数は34,898人、貸出冊数は73,353冊。	B
		4 図書館の広域利用	○荻田町との相互利用は未実施 ※福岡県北東部の15市町及び下関市とは、相互利用に取り組んでいる。	D
		5 ネットワーク(連携)統括機能の充実	○平成24年4月、学校ネットワークを活用し、図書館情報システムの更新を行った。	C
	学校等との連携による読書活動の推進	6 (新)調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成	○平成25年3月、図書館ホームページに「子どものページ」を作成・登載し、その中で「図書館でしらべものをする時」を掲載した。	B
		7 (新)学校向けニュースレターの発行の検討	○地区図書館や分館で毎月1回「図書館だより」を作成し、小学校等にも配付している。	B
		8 学校向け団体貸出の拡充	○未実施	D
		9 学校貸出図書セットの拡充	○中央図書館で学校貸出図書セットの拡充に取り組んでいる。 ・平成24年度は29セットから36セットに拡充し、貸出実績は26件。	B
		10 (新)図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣	○中央図書館、地区図書館、分館で、幼稚園、保育所、小学校等からの要請に応じて、図書館司書や読み聞かせボランティアの派遣に取り組んでいる。 ・図書館司書の派遣(11館39件) ・読み聞かせボランティアの派遣(8館97件)	B

【内部評価の考え方】

市内の大学図書館や図書施設との連携に取り組み、図書施設によっては図書資料の返却フリーに参加している。ひまわり文庫の蔵書の充実も図っている。他都市の図書館が利用できる広域利用については、荻田町との相互利用は未実施だが、福岡県北東部地域や下関市と相互利用に取り組み、図書館利用者へ広域利用の周知を図っている。

また、学校との連携については、子どものホームページの開設や学校向けの図書館だよりの配布、図書館司書の派遣など、子どもの読書活動推進に努めている。学校向け団体貸出の拡充は未実施だが、学校貸出図書セットの拡充により学校教育への支援の強化に努めている。

以上のことから順調と判断した。

【外部評価】

専門図書が多い大学図書館との連携は、大きなメリットであり、ホームページの「子どものページ」において「図書館で調べものをするとき」を作成していることなどは評価する。今後も、図書館の広域ネットワークとして連携を推し進め、利用しやすいネットワークの体制を整えてもらいたい。また、学校向け団体貸出の拡充に向け取り組むとともに、ホームページの内容をさらに充実してもらいたい。

視点	方向性	具体的取組	取組状況	内部評価
<p>*****</p> <p>市民の学びに役立つ図書館</p> <p>～市民の暮らしやまちづくりに役立つ、生涯学習拠点の充実を目指して～</p> <p>*****</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">内部評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; margin: 0;">B</p> </div>	レファレンス機能の強化	11 (新)相談内容のデータベース化	<p>○平成24年3月に、中央図書館でレファレンス事例集を発行した。</p> <p>・昭和60年3月、平成16年3月にレファレンス事例集を発行。</p> <p>○国立国会図書館の「レファレンス協同データベース事業」で、平成17年4月以降428件を一般公開した。</p>	C
		12 (新)調べ方マニュアルの作成	○平成24年3月に、中央図書館が発行したレファレンス事例集の中に、調べ方の事例を掲載した。	C
		13 (新)郷土資料のデジタル化の検討	○平成21年度、中央図書館で国庫補助を受けて郷土資料(門司新報、福岡県布達集、小笠原文庫、古地図、写真等)をデジタル化した。	B
		14 レファレンス用図書資料の充実	○中央図書館、地区図書館、分館で、市民のニーズに応えられるよう、レファレンス用図書の充実に取り組んでいる(各種辞典や図鑑などの買い替えなど)。	B
		15 レファレンス担当職員的能力向上	○中央図書館で、平成21年度、平成22年度に市内全図書館職員を対象に、レファレンス研修を実施した。	C
	特色ある図書館づくり	16 (新)各図書館独自のホームページの作成	<p>○平成24年4月、図書館情報システムの更新にあわせ、市立図書館のホームページをリニューアルした。</p> <p>○平成24年7月、八幡西図書館が開館にあわせて独自のホームページを作成した。</p>	B
		17 郷土資料の充実	○中央図書館、地区図書館、分館で、地域の歴史・特色を生かして郷土資料の充実に取り組んでいる。例えば、市史や市内企業の社史等の配架のほか、地元出身の作家コーナーを設けている。	B
		18 各種講座の開催	○中央図書館、地区図書館、分館で、それぞれの特徴を生かして各種講座を開催している(郷土史講座、医療情報支援セミナー、健康講座、食育講座、子育て支援講座等)。	B
		19 特色ある図書館閲覧コーナーづくり	○中央図書館、地区図書館、分館で、特色あるコーナーづくりに取り組んでいる(ビジネス支援コーナー、高齢者向けコーナー、国際コーナー、よい絵本コーナー等)。	B
		20 IT機能の充実、活用(既存資料のデータベース化等)	<p>○中央図書館で日刊工業新聞縮刷版のCD-ROMを購入したほか、DVD資料の寄贈を受け入れた。</p> <p>○八幡西図書館で郷土の祭りに関するDVD、市の水環境に関するDVDを収集した。</p>	C
	多様な生涯学習機会の提供	21 (新)市民団体等の講座等への出張図書館の推進(団体貸出しの拡充)	○地区図書館、分館で、絵本カーニバルへの図書貸出しのほか、市民センター事業に参加し、図書の展示等を行った。	B
22 (新)図書館の達人講座(図書館活用講座)		○分館で、郷土史会員に向けた図書館活用の仕方、資料利用方法の講座を実施した。	C	

視点	方向性	具体的取組	取組状況	内部評価
	多様な生涯学習機能の提供	23 学習活動の場、設備、資料等の提供	○中央図書館、地区図書館、分館で、郷土史会、読書会等への会議室の貸出や資料の提供などの支援に取り組んでいる。	B
		24 講座、研究会、読書会、映画会等の開催、	○中央図書館、地区図書館、分館で、市民の生涯学習活動を支援している。 ・ボランティア養成講座 5回 145人 ・講演会 6館10回 509人 ・講座 13館163回 4,275人 ・読書会 10館270回 2,168人 ・読み聞かせ、おはなし会 17館954回 19,626人 ・映画会 6館70回 1,166人	B
	社会教育で学んだ成果の活用と提供	25(新)学習成果発表の場として図書館利用の検討	○地区図書館、分館で、郷土史会や朗読教室の発表会、市民センター活動クラブの作品展示等を行った。	B
		26(新)学習成果のまとめ方(資料作成)への助言、援助	○地区図書館、分館で、郷土史会の資料作成への助言、調べ学習のための資料提供や助言等を行った。	B

【内部評価の考え方】

市民からの様々なニーズ・課題に対し、その解決を支援する相談・情報提供の機能強化に取り組んでおり、また、レファレンス機能の強化に向け、レファレンス事例集やレファレンス用図書の充実に取り組んでいる。特色ある図書館づくりについては、市立図書館全体のホームページリニューアルのほかに八幡西図書館独自のホームページ開設や、郷土資料・講座・閲覧コーナーの充実に努めた。

以上のことから順調と判断した。

【外部評価】

レファレンス機能の強化は調べもの等、図書館の利用増に大きな効果があり評価する。今後も、市民が使いやすいレファレンス機能を目指してもらいたい。また、ホームページの更なる充実に取り組むとともに、市民が使いやすく、暮らしに役立ち、交流を深められる場所として気軽に利用できる図書館を目指してもらいたい。

視点	方向性	具体的取組	取組状況	内部評価	
<p>***** 次世代の育成を支援する図書館 ~子育て、教育支援図書館としての機能の充実を目指して~ *****</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">内部評価</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> </div>	子育て支援、家庭教育支援	27 (新) 子育て・家庭教育支援用図書資料の充実	○中央図書館、地区図書館、分館で、教育分野の図書、育児書、食育関連図書等の購入に努めている。	B	
		図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣【再掲】			
		28 (新) 家読(うちどく)の推進 ※家読: 家族で読書の習慣を共有し、読んだ本について話すこと	○市内全図書館で、「うちどくガイドブック」による情報提供やうちどくコーナーを設置するなど、家読に適したおすすめ図書の紹介や展示に取り組んでいる。	B	
		29 読み聞かせ会等の実施	○地区図書館や分館で、読み聞かせ会、おはなし会等を実施している。 ・市内の読み聞かせボランティア団体数 31団体 ・読み聞かせ、おはなし会 17館954回 19,626人	B	
		30 (新) 子ども用トイレや授乳室の設置	○市内図書館の施設で授乳やオムツ替えができる環境整備に取り組んでいる。 ○平成24年7月開館の八幡西図書館に、市立図書館で初めて子ども用トイレを設置した。	B	
	学習活動の支援	調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成【再掲】			
		31 (新) グループ学習室の設置	○平成24年7月開館の八幡西図書館にグループ学習室を2室設置した。	B	
		32 調べ学習用図書資料の充実	○地区図書館、分館で、調べ学習に役立つ参考図書の充実に取り組んでいる。	B	
		図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣【再掲】			
		学校向け団体貸出の拡充【再掲】			
	ヤングアダルト(中高生)機能の充実	調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成【再掲】			
		33 (新) ヤングアダルト(中高生)と協働した取組の推進	○未実施	D	
34 (新) ヤングアダルト図書館サポーターの募集		○未実施	D		
35 ヤングアダルト向け図書資料の充実		○中央図書館、地区図書館、分館で、ヤングアダルト向けの図書の充実に取り組んでいる。	B		

【内部評価の考え方】

子育てや家庭教育の支援については、関連図書資料の充実や「うちどくガイドブック」による情報提供、読み聞かせ会など充実努めている。また、施設面に関しても、八幡西図書館では子ども用トイレを設置している。
 学習活動の支援では、参考図書の充実を努め、八幡西図書館ではグループ学習室を設置している。
 ヤングアダルトの機能の充実では、ヤングアダルトと協働した取組等は未実施だが、ヤングアダルトを支援する図書の充実に取り組んでいる。
 以上のことから順調と判断した。

【外部評価】

次世代の育成を支援する視点から、家読の推進は重要でありガイドブックによる情報提供などは評価する。子育てなどにおいて、工夫されたことや成功した点などをホームページ上で紹介するといったことに取り組んでもらいたい。また、子育て世代については、子どもと一緒に学び利用出来る環境作りの充実を努めてもらいたい。

視点	方向性	具体的取組	取組状況	内部評価	
<p>***** 誰もが使いやすく、 情報や人が交流する 図書館 *****</p> <p>～電子情報など多種の 情報が集まり、誰もが 交流する機能の充実を 目指して～ *****</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">内部評価</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center; margin: 0;">B</p> </div>	パソコンの整備	36 OPAC端末(館内利用者用端末)の増設	○平成24年7月開館の八幡西図書館に12台設置し、市内全図書館では46台となった。	A	
		37(新) パソコンルームの設置	○中央図書館にパソコン持込席コーナー(5席)を設置し、平成24年7月開館の八幡西図書館にパソコン専用スペース(22台)と持込パソコン活用スペースを設置した。	B	
	ネットワークへの接続	38 (新)公衆無線LANの整備	○平成24年7月開館の八幡西図書館に、市立図書館で初めて公衆無線LANを設置した。	B	
	商用データベースの活用	39 (新)オンライン商用データベース(新聞記事、判例集、官報、企業情報など)の導入	○平成23年9月、中央図書館でオンライン商用データベースを1種類から3種類に拡充した。 ○平成24年7月開館の八幡西図書館に11種類の商用データベースを導入した。	B	
	図書館ホームページ等の活用による情報発信	40 (新)ホームページを活用した図書館情報の発信の検討	○平成24年4月、図書館情報システムの更新にあわせ、市立図書館のホームページをリニューアルした。 ・平成24年度の図書館ホームページへのアクセス件数は334,125件で、平成23年度150,150件の2.2倍以上となった。	B	
		41 (新)子ども向けホームページの開設	○平成25年3月、図書館ホームページに子ども向けのホームページを開設した。	A	
		42 (新)メールマガジンの配信の検討	○平成24年4月に図書館情報システムを更新し、新刊案内や蔵書の予約状況等の情報は、誰でも閲覧できる状況となっている。	C	
	時代に即した各種サービスの充実	43 (新)CD・DVDの貸出	○平成24年7月開館の八幡西図書館で、市内図書館で初めてCD、DVDの視聴覚資料の貸出に取り組んだ。 (視聴覚資料数は3,987タイトル、貸出実績は43,757点)	B	
			相談内容のデータベース化【再掲】		
		インターネット、商用データベース等の充実【再掲】	44 成人へのサービス(就職、転職、能力開発、実用書等の充実)	○地区図書館、分館で、ビジネス支援コーナーを設置したり、実用書等の充実に取り組んでいる。	B
			障害者へのサービス	45 (新)対面朗読(視覚障害者向けサービス)	○平成24年7月開館の八幡西図書館に、市立図書館で初めて対面朗読室を設置した。
		46 (新)CDブックの収集・貸出(視覚障害者、一般向けサービス)	○未実施	D	
		47 手話や字幕入り映像資料の整備充実(聴覚障害者向けサービス)	○中央図書館内の視聴覚センターで手話や字幕入り映像資料の充実に取り組んでいる。	C	
		48 関係機関・団体との連携	○平成22年7月、中央図書館、地区図書館に点字図書蔵書目録を設置し、貸出申込の受付代行を開始した。 ○八幡西図書館においては、関係団体と意見交換を行いながら、施設整備を行った。	B	

視点	方向性	具体的取組	取組状況	内部評価
	障害者へのサービス	49 図書館バリアフリー化の推進(ユニバーサルデザインの観点)	○中央図書館に屋外エレベーターを設置(平成17年3月) ○門司図書館にエレベーター、多目的トイレを設置(平成19年3月) ○八幡図書館にエレベーター、多目的トイレを設置(平成20年11月) ○戸畑図書館に多目的トイレを設置(平成21年1月) ○八幡図書館に身障者用駐車スペースを設置(平成23年9月) ○門司図書館に駐車スペース3台分を増設(平成24年7月)	B
	交流スペースの設置	50 リフレッシュ(談話)スペースの整備(利用者がくつろげる場所の提供)	○平成22年11月、中央図書館の飲食コーナーに物販テナントを設置した。 ○平成24年7月開館の八幡西図書館に、談話ができるロビーとカフェテリアを設置した。	B
	図書館職員の意識改革	51(新)リカレント教育(再研修)の実施	○指定管理者が運営している地区図書館、分館においても独自に職員研修に取り組んでいる。	C
	利用者の視点に立った弾力的運営、評価	52 返却フリー(借りた図書はどの図書館でも返却可能)	○平成22年8月、返却フリー制度を導入した。 ・市立図書館18館と北九州学術研究都市学術情報センター(一般図書室)、ムーブ図書・情報室の計20施設が対象施設。	A
		53 インターネット予約(インターネットでの貸出予約)	○平成24年4月、図書館情報システムの更新にあわせ、インターネット予約を実施した。 ・平成24年度の予約件数は427,022件で、うちインターネット予約件数は208,952件 全件数の約49%となっている。 ・平成23年度の予約件数は301,956件	A
		54(新)運営に関する評価制度の導入	○平成25年度から図書館評価制度を導入することとした。	B

【内部評価の考え方】

図書や電子資料を組み合わせた情報提供を行うとともに、平成24年4月に、誰もが使いやすい図書館づくりに向けて、図書館情報システムを更新した。情報提供の面では、情報機器の増設やパソコンが利用しやすい環境整備に努め、商用データベースの拡充や子ども向けホームページの開設など充実を図った。

また、八幡西図書館で視聴覚資料の貸出サービスを行っている。

障害者の方のサービスについては、CDブックの収集は未実施だが、八幡西図書館での対面朗読室の設置や図書館施設のバリアフリー化を行っている。

利用者へのサービスの向上に向けて、新たにインターネット予約を開始した。

以上のことから順調と判断した。

【外部評価】

大人も見ることがある子ども向けのホームページの開設や、インターネット予約などのインターネットを使った利用が増えており評価する。ホームページの内容については、子どもからヤングアダルトもインターネットをよく利用するので、さらに充実を図り魅力あるものにしてもらいたい。また、インターネット上で市民間での交流もできるようなことも考えてもらいたい。

視点	方向性	具体的取組	取組状況	内部評価
<p>***** 市民参画型図書館 ～市民やボランティア の参画できる機能 の充実を目指して～ *****</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">内部評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; margin: 0;">B</p> </div>	市民の企画による行事の開催	55 (新)図書館行事アイデア募集事業の推進	○地区図書館、分館で、NPOとの共催によるアジア講座やおはなし会との協働による市民センターへの出前おはなし会など開催した。	B
		ヤングアダルト(中高校生)と協働した取組の推進 【再掲】		
	ボランティア活動の参画支援と活用	56 (新)多様なボランティアの活用(パソコン操作、子育て相談等)	○地区図書館、分館で、折り紙教室、人形劇、工作、楽器演奏、落語など多様な講座等をボランティアの協力を得て開催した。	B
		57 (新)ボランティアバンクの検討	○未実施	D
		58 読書ボランティア、図書館ボランティアの育成・活用	○中央図書館で図書館ボランティア養成講座(年2回計60人)、読み聞かせボランティア養成講座(初心者コース年2回計60人と経験者コース年1回30人)を開催し、ボランティアの育成、活用に取り組んでいる。	B
図書館協議会の充実	59 時代に即した図書館づくりの推進	○返却フリーやインターネット予約、図書館評価制度の導入等を進めるほか、他都市の情報収集を行い、効率的、効果的な図書館サービスの向上に取り組んでいる。	B	

【内部評価の考え方】

市民参画型の図書館づくりに取り組んでおり、NPOとの共催による行事開催や、各種ボランティアの協力による行事開催に取り組んでいる。
 ボランティアバンクの検討は未実施だが、ボランティアの人材育成・活用に取り組んでいる。
 以上のことから順調と判断した。

【外部評価】

ボランティアの養成・参画については評価する。今後もボランティアの活用を進めてもらいたい。また、ボランティアバンクの取り組みについても進めてもらいたい。